

研究課題名	先天性内反足に伴う距骨の形態学的変化に関する研究
研究の意義・目的	<p>先天性内反足に伴う Flat Top Talus(以下, FTT)は、いまだ、その成因や危険因子、臨床成績との関連性が明らかになっておらず、またその評価が十分に行われていないのが現状です。そのため、これまでは、FTT が判明しても、十分な医学的介入が行われず、FTT による症状で、日常生活活動に制約が生じていた患者が存在した可能性があります。FTT の成因が判明すれば、その合併を回避すべく、先天性内反足に対する新たな治療方法の開発につながる可能性があります。また、FTT の危険因子が明らかになり、定量的な重症度分類が確立できれば、FTT の早期発見につながり、重症化を回避できる可能性があります。さらに、臨床成績との関連性が明らかになることで、患者のスポーツ活動などを含めた日常生活活動レベルの改善が期待できます。本疾患は、小児が対象となる疾患であり、本疾患の治療後の予後が長く、また小児期からの日常生活活動に制約が加わることはその心身の発達に与える影響は少なくないことから、本研究による患者への貢献は大きいものと考えます。</p> <p>本研究の目的は、先天性内反足の治療経過中に FTT を発症した患者の罹患肢を対象に、非罹患肢を比較対照群として、患者背景・身体所見・画像所見の調査を行い、その成因や危険因子を検証するとともに、新たな重症度分類を確立することによって、先天性内反足に対する現行治療の問題点を明らかにすることです。</p> <p>本研究は、大阪公立大学と共同研究機関である大阪市立総合医療センターから提供いただいた資料・情報をもとに行います。</p>
研究を行う期間	機関の長の実施許可日 ~ 2030 年 3 月
研究協力を お願いしたい方 (対象者)	2009 年 4 月~2025 年 1 月に大阪公立大学医学部附属病院の整形外科へ、先天性内反足のため受診された方が対象となります。
協力をお願いしたい 内容と研究に使わせ ていただく試料・情 報等の項目	<p>診療の過程で得られた下記項目を本研究に使用させてください。</p> <ul style="list-style-type: none">・患者基本情報：年齢・性別・診断名・病歴・初期重症度スコア(Dimeglio score)・石膏ギプスでの矯正回数・併存疾患・成長後の歩容・足関節可動域・日常生活活動時の疼痛の有無・スポーツ活動の有無とその内容・画像検査結果：足部単純 X 線

試料・情報を 利用する者の範囲 および管理について 責任を有する者の 研究機関の名称	以下の機関が御提供いただいた情報を本研究に利用いたします。 【研究代表者】 公立大学法人大阪 大阪公立大学大学院医学研究科 整形外科学 新谷康介 【共同研究機関・研究責任者】 大阪市立総合医療センター 小児整形外科 中川敬介
個人情報の取り扱い	この研究にご参加いただいた場合、あなたから提供された診療情報などのこの研究に関するデータは、すぐには個人を特定できない形式に記号化した番号により管理されます。また共同研究機関である大阪市立総合医療センターからもデータの提供を受けます。 この研究から得られた結果が、学会や医学雑誌などで公表されることはあります。このような場合にも、あなたのお名前など個人情報に関することは含まない形で公表されます。
本研究の 利益相反	利益相反の状況については研究者等が利益相反マネジメント委員会に報告し、その指示を受けて適切に管理します。本研究に関連し開示すべき利益相反関係にある企業等はありません。
研究に協力を したくない場合	診療情報が当該研究に用いられることについてご了承いただけない場合には研究対象としないので、下記の連絡先までお申出ください。その場合でも不利益を受けることはありません。
連絡先	大阪公立大学医学部附属病院 整形外科 担当者氏名：新谷 康介 電話番号：(06) 6645-3851